



月映

TSUKUHAÉ



田中恭吉《失題》1914年頃 木版、紙



恩地孝四郎《キリストとマリア》1914年頃 木版、紙



藤森静雄《二の心》1914年 木版、紙

田中恭吉・藤森静雄・恩地孝四郎 木版にいのちを刻んだ青春

2015年 1月17日[土]— 3月1日[日]

生死をみつめた若き三人による珠玉の版画集『月映』

刊行100年を記念し、『月映』全作品をはじめ

稀少な私家版や萩原朔太郎『月に吠える』初版本に収録された挿絵原画など、約330点を展示

つくはえ
月映 田中恭吉・藤森静雄・恩地孝四郎 一木版にいのちを刻んだ青春
2015年1月17日(土)～3月1日(日)

阪神淡路大震災から20年目となる2015年1月17日、「月映 田中恭吉・藤森静雄・恩地孝四郎一木版にいのちを刻んだ青春」が始まります。

1914(大正3)年9月、3人の美術学生によって60ページにわたる冊子が世に送り出されました。田中恭吉・藤森静雄・恩地孝四郎による木版画と詩の作品集『月映』^{つくはえ}です。

大正初期、文芸誌『白樺』などで日本に紹介され始めた西洋美術の影響を受けながら、病に苛まれ文字通り命を刻むようにして制作を続けた田中恭吉(1892～1915)と、田中に触発され美しい友情を交わしつつ、生死について深く内省する作品を生み出した藤森静雄(1891～1943)、日本で最も早く抽象表現へと進んだ恩地孝四郎(1891～1955)により、『月映』は近代日本の美術史を彩る珠玉の作品集となりました。

この展覧会は『月映』が刊行されて100年となるのを記念し、和歌山県立近代美術館の所蔵品を中心に全国から作品を集め、約330点によりその全貌をご紹介します。1915(大正4)年11月の第7号まで約200部ずつ刊行された公刊『月映』から全点を展示するのはもちろん、出版するのとは別に3人だけが持ち合い、現在では1部しか残されていない貴重な私家版も紹介します。また竹久夢二との交流を示す作品があるほか、『月映』を見た萩原朔太郎が装幀を田中と恩地に依頼し誕生した詩集『月に吠える』の挿画となった作品も、現存する恩地孝四郎旧蔵品と萩原朔太郎旧蔵品が今回初めて一緒に並びます。100年前の若者たちの奇跡のような出会いを、ぜひご覧ください。

会期中、一部作品の展示替えを行ないます。

前期展示=1月17日(土)～2月8日(日) 後期展示=2月10日(火)～3月1日(日)

主な出品作品

掲載用画像については広報担当にお問合せ下さい。

I. つくはえ前夜 三人の出会い

表記のないものはすべて和歌山県立近代美術館蔵



1.



2.



3.

1. 田中恭吉
《白昼のなまけもの》1914年
インク・彩色、紙 [後期展示]
2. 藤森静雄
《瞳》1914年
インク・淡彩、紙
3. 恩地孝四郎
《ピアノをひく女》1913年頃
インク・水彩、紙

Ⅱ. 『月映』 誕生 木版画にかける夢



4.



5.



6.

4. 恩地孝四郎
《失題》 1914年頃
木版、紙 千葉市美術館
[前期展示]
5. 藤森静雄
《よる》 1914年
木版、紙
[前期展示]
6. 恩地孝四郎
《望と怖》 1914年頃
木版、紙

Ⅲ. 『月映』 出版 死によりて挙げらるる生



7.



8.



9.

7. 田中恭吉
《冬虫夏草》 1914年
木版、紙 宇都宮美術館
8. 藤森静雄
《亡びゆく肉》 1915年
木版、紙 福岡市美術館
9. 恩地孝四郎
《抒情『あかるい時』》 1915年
木版、紙
東京国立近代美術館
[後期展示]

Ⅳ. 『月映』 のゆくえ 青春の記念碑



10.



11.



12.

10. 田中恭吉
《悔恨 第一》 1914年
インク・金彩、紙 [前期展示]
11. 田中恭吉
《冬の夕》 1914年
インク・鉛筆、紙
水と緑と詩のまち前橋文学館
12. 田中恭吉
《夜の花》(萩原朔太郎著『月
に吠える』初版本カバー)
1917年 冊子



関連事業

● 記念講演会

いずれも 14 時～ 16 時 2 階ホールにて

▶ 1 月 25 日 (日) 「月映コレクションの始まり」

三木哲夫 (兵庫陶芸美術館館長、元当館学芸課長)

▶ 2 月 8 日 (日) 「月映の魅力」

井上芳子 (当館学芸課長)

▶ 2 月 22 日 (日) 「月映と和歌山」

寺口淳治 (広島市現代美術館副館長、前当館学芸課長)



公刊『月映』全 7 冊 1914～1915 年 冊子

● スライドレクチャー (学芸員による展示解説)

1 月 17 日 (土)、2 月 14 日 (土) 14 時～ 15 時 2 階ホールにて

開催概要

会場	和歌山県立近代美術館 2 階展示室
会期	2015 (平成 27) 年 1 月 17 日 (土) — 3 月 1 日 (日)
開館時間	9 : 30～17 : 00 (入場は 16 : 30 まで)
休館日	月曜日
観覧料	一般 510 (410) 円、大学生 300 (250) 円 () 内は 20 名以上の団体料金 *高校生以下、65 歳以上、障がい者の方、県内に在学中の外国人留学生は無料 *1 月 24 日 (土)、2 月 28 日 (土) は「紀陽文化財団の日」として大学生無料
主催	和歌山県立近代美術館
後援	NHK 和歌山放送局

同時開催

コレクション展 2014/15- 冬

【特集展示】 コレクション/ドネーション

会場	和歌山県立近代美術館 1 階展示室
会期	2014 (平成 26) 年 12 月 16 日 (火) — 2015 (平成 27) 年 2 月 22 日 (日)

和歌山県立近代美術館

学芸担当 : 井上芳子・藤本真名美 広報担当 : 秋丸

〒640-8137 和歌山市吹上 1-4-14

TEL 073-436-8690 (代表) FAX 073-436-1337

E-MAIL moma_w@future.ocn.ne.jp WEB <http://www.momaw.jp/>